

点鼻インフルエンザワクチン（フルミスト）を接種される方へ「任意接種」

インフルエンザワクチンの予防接種を実施するにあたって、受けられる方の健康状態を把握する必要があります。そのため、以下のインフルエンザワクチンに関する情報を必ずお読みください。また、予診票の質問に対する回答をご記入ください。お子さんの場合には、健康状態をよく把握している保護者をご記入ください。

○ ワクチンの効果と副反応

本ワクチンはインフルエンザウイルスを弱毒化した生ワクチンです。接種後に体の中で増えたワクチンウイルスに対する免疫ができ、インフルエンザウイルスの感染を予防します。

一方、本ワクチンの接種に伴う副反応として、鼻閉・鼻漏、咳嗽、口腔咽頭痛、頭痛などがみられることがあります。また重い副反応としてショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管性浮腫など）や、海外ではベル麻痺を含む脳神経障害、脳炎、けいれん（熱性けいれんを含む）、ギラン・バレー症候群（手足に力がはいらぬ、しびれ、食べものが飲み込みにくい、呼吸が苦しいなど）、血管炎（発熱、頭痛、倦怠感、紫斑、紅斑など）などが報告されています。

このような症状が認められたり、疑われたりした場合は、すぐに医師に申し出てください。

○ 予防接種を受けることができない人

1. 明らかに発熱のある人（37.5℃を超える人）
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
3. 2歳未満と19歳以上の方
4. 接種で激しく泣いてしまうお子様
5. 鼻汁鼻閉のひどい方
6. 現在5歳未満で過去に喘息の診断を受けた方
7. 免疫不全の方、免疫不全の方と接触する機会のある方
8. 妊婦・妊娠の可能性のある方
9. 過去に本ワクチンに含まれている成分（ゼラチンなど）で、アナフィラキシー（通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のひどいじんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと）を起こしたことがある方
10. その他医師が接種不相当と認めた方

○ 予防接種を受ける際に医師への相談が必要な人

1. 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの人
2. 過去に予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発疹、蕁麻疹などのアレルギーを疑う異常がみられた人
3. 今までにけいれんを起こしたことがある人
4. 鶏卵、鶏肉、ゼラチンなどで皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたりしたことのある人

○ ワクチン接種後の注意

1. インフルエンザワクチンを受けたあと30分間は、急な副反応（息苦しさ、蕁麻疹、咳など）が起きることがあります。様子を観察し、医師と連絡をとれるようにしておきましょう。
2. 接種当日の入浴は差し支えありません。激しい運動は避けましょう。
3. 高熱やけいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
4. 妊娠が可能な方は、接種後2か月間は妊娠をしないように注意しましょう。
5. 接種後1～2週間は乳児や重度の免疫不全の方との接触を可能な限り控えましょう。

インフルエンザワクチンの接種により、健康被害（入院が必要な程度の疾病や障害など）が生じた場合については、健康被害を受けた人または家族が独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づいて、救済手続きを行う制度があります。

詳しくは、独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページをご覧ください。

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 救済制度相談窓口

電話：0120-149-931（フリーダイヤル） URL：<https://www.pmda.go.jp>